

矢田川

長井幼稚園・小学校

輝かせ 一人一人の情熱を ～全力でやりきろう～

9月18日(日)、児童会で決めたこのスローガンの下、運動会が行われました。台風14号の影響が心配されましたが、晴天に恵まれました。とはいえ、風が強まってくることが予想されたため、プログラムを一部変更しました。そんな予定変更にも子ども達に対応して、自分たちの演技をしっかりと披露することができました。あの日の晩御飯の話題は「運動会」だったでしょうか?きっと、家族団らんの中で、子ども達を褒めていただいたことと思います。

子ども達を支え応援してくださったご家族のみなさんに感謝申し上げます。

今後も、子ども達の心身ともに健やかな成長のために一緒に頑張っていきたいと思っています。



幼稚園表現「青と夏」～主役は君だ～



低学年表現「Umbrella Dance」



高学年表現「夢～になりたい自分に～」

長井郷土踊り、家族と一緒に

「さても楽しき わが郷土(さと)は 矢田の川辺に…」で始まる長井郷土歌に合わせて踊る『長井郷土踊り』を、プログラムの最後を飾ってみんなで踊りました。

この郷土歌は昭和初期に、当時の長井小学校長が、歌を通して村民の絆を深めようとしてつくったそうです。

以来、歌い踊り継がれ、今では地区の貴重な“財産”と言えます。

次の機会には、もっと多くの地区のみなさんと一緒に踊れますようにと願っています。



「長井郷土踊り」…たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

「ねばる子」「助け合う子」「行動する子」

「ねばる」「助け合う」「行動する」は、“非認知能力”と言われます。
非認知能力は、他にもたくさんあります。意欲、協調性、忍耐力、計画性、自制心、創造性、自己肯定感、コミュニケーション能力……。

要するに、非認知能力とは測定できない個人の特性による能力です。学力（認知能力）と対照して用いられます。

AI の開発が進み、世の中がますます多様化・複雑化する現在、この非認知能力こそが、これからの時代を生きる子ども達にとって、とても重要であると言われています。

長井小学校では、集会で「**長井の子、ねばる子、助け合う子、行動する子!**」と、全校生が声を合わせて大きな声で言っています。

ある日の全校朝会で「ねばる子って、どんな子？」と尋ねたことがありました。すると、子ども達の中から「あきらめないでやる子」とか「最後までやる子」等の言葉が返ってきました。子ども達は意味もちゃんと分かっていました。

子ども達の未来のために、非認知能力の育成を目指して、教育活動に取り組んでいこうと考えています。

非認知能力を育てる家庭教育に関する著書が出版されています。下の例は、著書『「非認知能力」の育て方』（小学館、ボーク重子 著）から抜粋した、非認知能力の育成に有効なことです。一部ですがご紹介します。

例：「子どもを信じる」「家庭のルールをつくる」「親子の対話」「外遊び」「運動」



↑上の写真は、全校生による「平和学習」において、子ども達が自主的に発表している様子

10月の行事予定

10月 3日(月) 衣替え 委員会	17日(月) 3・4年チャレンジ(柴山小)
4日(火) 5・6年チャレンジ	19日(水) 誕生集会
5日(水) 全校朝会 芋掘り	香美町人権教育授業研究会
6日(木) ALT来校	20日(木) ALT来校
11日(火) 1・2年チャレンジ(柴山小)	クラシック音楽鑑賞会
12日(水) 3~5年社会見学(大阪)	21日(金) マラソン大会(予備日:24日)
13日(木) ALT来校	26日(水) 児童集会
14日(金) PTA人権講演会 19:00	27日(木) ALT来校

